学校番号	321

長野高校（普通科）シラバス

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現Ⅱ	2	第３学年	Vision Quest English Expression Ⅱ Hope

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２学年に引き続き、基礎的な文法力を定着させ、より多くの語彙力をつけることに力を注ぐ。その上でさまざまな具体的な場面を設定し、話したり、書いたりする言語活動を行っていく。様々なテーマに関してライティングを行い、英語で自分を表現できるようになる。以上が目標です。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（３単位）及び「英語表現Ⅱ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら具体例を添えて短く説明することができる。身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。	コミュ英Ⅲ インタビューテスト スピーチ 英語表現Ⅱ スピーチ	身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。	コミュ英Ⅲ ライティングテスト 定期考査 英語表現Ⅱ ライティングテスト 定期考査	自然な速さで話される説明やアナウンスを聞いて、大切なポイントをつかみながら内容を理解することができる。はっきりと話されれば、身近なトピックについての短いニュースの要点を聞き取ることができる。	コミュ英Ⅲ リスニングテスト 定期考査	300 語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。やさしい英語で書かれた物語を読みきり、全体の筋を理解することができる。	コミュ英Ⅲ リーディングテスト 音読テスト 定期考査 英語表現Ⅱ リーディングテスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 1 Lesson 3 (6時間)	サプライズパーティーを題材にして使役動詞、知覚動詞、動詞＋O+to do について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	行動についての動機や自分が相手に臨む行動について尋ねたり、答える。	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペア・グループ内での言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	時間の流れを考えて、最後に出てくる落ちを過去完了を使って表現できる。	本文に続くストーリーを考えて、それを表現できる。	ペア・グループ内で言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	Practice で練習し、文の作成を行い、習ったことを活用する。	状況に応じて、適切なニュアンスで助言、提案、応答ができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		使役動詞や知覚動詞の形を理解する。	使役動詞や知覚動詞の使い方、動詞＋人＋to do における意味上の主語の表現を学ぶ。	使役動詞、知覚動詞、動詞＋人＋to do の形を用いて、正しい英文を書ける。	定期テスト 小テスト ワーク ペアワーク
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 1 Lesson 4 (6時間)	就きたい職業を題材に、時制の「～する／している」「～した／していた」について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	行動についての動機や自分が相手に臨む行動について尋ねたり、答える。	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペア・グループ内での言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	時間の流れを考えて、最後に出てくる落ちを過去完了を使って表現できる。	本文に続くストーリーを考えて、それを表現できる。	ペア・グループ内で言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	Practice で練習し、文の作成を行い、習ったことを活用する。	状況に応じて、適切なニュアンスで助言、提案、応答ができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		使役動詞や知覚動詞の形を理解する。	使役動詞や知覚動詞の使い方、動詞＋人＋to do における意味上の主語の表現を学ぶ。	使役動詞、知覚動詞、動詞＋人＋to do の形を用いて、正しい英文を書ける。	定期テスト 小テスト ワーク ペアワーク
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 1 Lesson 5 (6時間)	お金があればしたいことを題材にして義務必要を表す助動詞や推量を表す助走痔、仮定法について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	行動についての動機や自分が相手に臨む行動について尋ねたり、答える。	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペア・グループ内での言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	時間の流れを考えて､最後に出てくる落ちを過去完了を使って表現できる。	本文に続くストーリーを考えて、それを表現できる。	ペア・グループ内で言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	Practice で練習し、文の作成を行い、習ったことを活用する。	状況に応じて、適切なニュアンスで助言、提案、応答ができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		使役動詞や知覚動詞の形を理解する。	使役動詞や知覚動詞の使い方、動詞＋人＋to do における意味上の主語の表現を学ぶ。	使役動詞、知覚動詞、動詞＋人＋to do の形を用いて、正しい英文を書ける。	定期テスト 小テスト ワーク ペアワーク
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 1 Lesson 6 (6時間)	旅行の思い出を題材にして、前後置修飾、関係代名詞、関係副詞について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	行動についての動機や自分が相手に臨む行動について尋ねたり、答える。	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペア・グループ内での言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	時間の流れを考えて､最後に出てくる落ちを過去完了を使って表現できる。	本文に続くストーリーを考えて、それを表現できる。	ペア・グループ内で言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	Practice で練習し、文の作成を行い、習ったことを活用する。	状況に応じて、適切なニュアンスで助言、提案、応答ができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		使役動詞や知覚動詞の形を理解する。	使役動詞や知覚動詞の使い方、動詞＋人＋to do における意味上の主語の表現を学ぶ。	使役動詞、知覚動詞、動詞＋人＋to do の形を用いて、正しい英文を書ける。	定期テスト 小テスト ワーク ペアワーク
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 1 Lesson 7 (6時間)	携帯電話の是非を題材にして、副詞、副詞句、不定詞、分詞を使った副詞句や副詞節について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	行動についての動機や自分が相手に臨む行動について尋ねたり、答える。	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペア・グループ内での言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	時間の流れを考えて、最後に出てくる落ちを過去完了を使って表現できる。	本文に続くストーリーを考えて、それを表現できる。	ペア・グループ内で言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	Practice で練習し、文の作成を行い、習ったことを活用する。	状況に応じて、適切なニュアンスで助言、提案、応答ができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		使役動詞や知覚動詞の形を理解する。	使役動詞や知覚動詞の使い方、動詞＋人＋to do における意味上の主語の表現を学ぶ。	使役動詞、知覚動詞、動詞＋人＋to do の形を用いて、正しい英文を書ける。	定期テスト 小テスト ワーク ペアワーク
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 1 Lesson 8 (6時間)	犬好き？猫好き？を題材にして、原級、比較級、最上級の表現を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	行動についての動機や自分が相手に臨む行動について尋ねたり、答える。	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペア・グループ内での言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	時間の流れを考えて、最後に出てくる落ちを過去完了を使って表現できる。	本文に続くストーリーを考えて、それを表現できる。	ペア・グループ内で言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	Practice で練習し、文の作成を行い、習ったことを活用する。	状況に応じて、適切なニュアンスで助言、提案、応答ができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		使役動詞や知覚動詞の形を理解する。	使役動詞や知覚動詞の使い方、動詞＋人＋to do における意味上の主語の表現を学ぶ。	使役動詞、知覚動詞、動詞＋人＋to do の形を用いて、正しい英文を書ける。	定期テスト 小テスト ワーク ペアワーク
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 2 Lesson 1 (6時間)	ロボットの有用性を題材にして、パラグラフ構成について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	行動についての動機や自分が相手に臨む行動について尋ねたり、答える。	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペア・グループ内での言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	時間の流れを考えて、最後に出てくる落ちを過去完了を使って表現できる。	本文に続くストーリーを考えて、それを表現できる。	ペア・グループ内で言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	Practice で練習し、文の作成を行い、習ったことを活用する。	状況に応じて、適切なニュアンスで助言、提案、応答ができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		パラグラフの構成、列挙の仕方や順序について学ぶ。	列挙や順序を表すパラグラフの論理性について学ぶ。	英語のパラグラフを書くことができる。	定期テスト 小テスト ワーク ペアワーク
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 2 Lesson 2 (6時間)	英語を学ぶ意義を題材にして、例示、追加を表すパラグラフ構成について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	行動についての動機や自分が相手に臨む行動について尋ねたり、答える。	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペア・グループ内での言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	時間の流れを考えて、最後に出てくる落ちを過去完了を使って表現できる。	本文に続くストーリーを考えて、それを表現できる。	ペア・グループ内で言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	Practice で練習し、文の作成を行い、習ったことを活用する。	状況に応じて、適切なニュアンスで助言、提案、応答ができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		パラグラフの例示や追加について学ぶ。	例示や追加を表すパラグラフの論理性について学ぶ。	例示や追加を表す英語のパラグラフを書くことができる。	定期テスト 小テスト ワーク ペアワーク
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 2 Lesson 3 (6時間)	都会と田舎を題材にして、比較類似を表すパラグラフ構成について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	行動についての動機や自分が相手に臨む行動について尋ねたり、答える。	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペア・グループ内での言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	時間の流れを考えて、最後に出てくる落ちを過去完了を使って表現できる。	本文に続くストーリーを考えて、それを表現できる。	ペア・グループ内で言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	Practice で練習し、文の作成を行い、習ったことを活用する。	状況に応じて、適切なニュアンスで助言、提案、応答ができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		比較や類似を表すパラグラフの構成について学ぶ。	比較や類似を表すパラグラフの論理性について学ぶ。	比較や類似を表す英語のパラグラフを書くことができる。	定期テスト 小テスト ワーク ペアワーク
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 2 Lesson 4 (6時間)	若者の本離れを題材にして、原因や理由を表すパラグラフについて学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	行動についての動機や自分が相手に臨む行動について尋ねたり、答える。	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペア・グループ内での言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	時間の流れを考えて、最後に出てくる落ちを過去完了を使って表現できる。	本文に続くストーリーを考えて、それを表現できる。	ペア・グループ内で言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	Practice で練習し、文の作成を行い、習ったことを活用する。	状況に応じて、適切なニュアンスで助言、提案、応答ができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		パラグラフの要点や要約について学ぶ。	原因や理由を表すパラグラフの論理性について学ぶ。	原因や理由を表す英語のパラグラフを書くことができる。	定期テスト 小テスト ワーク ペアワーク
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 2 Lesson 5 (6時間)	ベジタリアンを題材にして、パラグラフ構成の要点や要約について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	行動についての動機や自分が相手に臨む行動について尋ねたり、答える。	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペア・グループ内での言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	時間の流れを考えて、最後に出てくる落ちを過去完了を使って表現できる。	本文に続くストーリーを考えて、それを表現できる。	ペア・グループ内で言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		状況に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。それに対する応答ができる。	Practice で練習し、文の作成を行い、習ったことを活用する。	状況に応じて、適切なニュアンスで助言、提案、応答ができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		パラグラフの要点や要約について学ぶ。	パラグラフの要点をつかみ、要約文について学ぶ。	英語のパラグラフの要点をつかみ、要約文を書くことができる。	定期テスト 小テスト ワーク ペアワーク